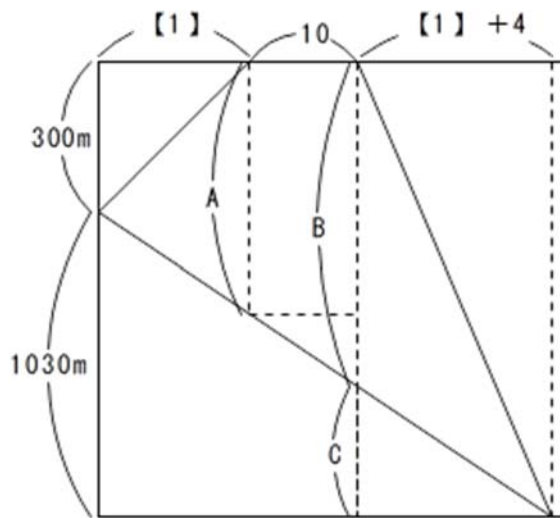


(1) グラフにすると以下ようになります。



ここで A の長さは上りの速さで【1】の時間行った距離と流れの速さで【1】の時間下った距離の和なので、結局静水時の速さで【1】の時間行った距離になります。

一方 B+C は下りの速さで【1】+4 の時間行った距離になりますが C は川の流れの速さで【1】+4 の時間行った距離になるので、B は静水時の速さで【1】+4 の時間行った距離になります。したがって B-A は静水時の速さで 4 分行った距離になり、この距離を流れの速さは 10 分で行っていますから、静水時の速さ：流れの速さ＝10：4＝5：2
したがって静水時の速さは $5 \div 2 = 2.5$ 倍です。

(答え) 2.5 倍

(2) 静水時の速さを<5>、流れの速さを<2>とすると、B：C＝5：2

$B = (1030 + 300) \div 7 \times 5 = 950\text{m}$ 上りの速さ：流れの速さ＝3：2 より

$A = 300 \div 3 \times 5 = 500\text{m}$ したがって $B - A = 450\text{m}$ $450 \div 10 = 45\text{m}$ が流速になります。

(答え) 45m